

NY マーケットレポート (2017 年 1 月 18 日)

NY 市場では、序盤に発表された米消費者物価指数がまずまずの結果となったことや、米債券利回りが上昇したことを受けて、ドル買い・円売りが先行した。ただ、その後は 19 日の ECB 理事会や、20 日のトランプ米次期大統領の就任式を控えて、やや慎重な動きが続いた。そして、終盤にはイエレン FRB 議長が、「雇用とインフレ率は目標に近い」、「2019 年末まで年数回の追加利上げを想定している」と発言したことが好感され、ドル買いが優勢となり、また米債券利回りの上昇なども加わり、ドル円・クロス円は引けにかけて堅調な動きが続いた。

2017年 1月18日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.33	113.43	112.58
EUR/JPY	121.02	121.14	120.60
GBP/JPY	139.71	140.00	139.37
AUD/JPY	85.52	85.55	85.04
EUR/USD	1.0678	1.0715	1.0676

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.49	113.09
EUR/JPY	121.27	120.99
GBP/JPY	139.81	139.15
AUD/JPY	85.77	85.44
EUR/USD	1.0705	1.0665

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.43	114.61	113.19
EUR/JPY	121.71	121.87	120.95
GBP/JPY	140.35	140.58	139.26
AUD/JPY	85.93	86.04	85.49
NZD/JPY	81.68	81.71	81.29
EUR/USD	1.0637	1.0703	1.0630
AUD/USD	0.7511	0.7566	0.7505

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19804.72	-22.05
S&P500	2271.89	+4.00
NASDAQ	5555.66	+16.93
日経225 (CME)	19010	+290
トロント総合	15397.85	-43.51
ボルサ指数	46360.63	+358.07
ボエスパ指数	64149.57	-204.76

1/19 経済指標スケジュール

08:50	【日本】1月対内外証券投資
09:00	【オーストラリア】1月消費者インフレ期待
09:00	【ニュージーランド】1月 ANZ 消費者信頼感指数
09:01	【英国】12月 RICS 住宅価格
09:30	【オーストラリア】12月失業率
09:30	【オーストラリア】12月雇用者数
09:30	【オーストラリア】12月労働参加率
13:00	【日本】12月首都圏新規マンション発売
15:00	【日本】12月工作機械受注
16:00	【南アフリカ】4Q BER 消費者信頼感
17:15	【スイス】12月生産者輸入価格
17:30	【香港】12月失業率
18:00	【欧州】11月経常収支
21:45	【欧州】政策金利発表
22:00	【ポーランド】12月小売売上高
22:00	【ポーランド】12月生産者物価指数
22:00	【ポーランド】12月鉱工業生産販売
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【米国】12月住宅着工件数
22:30	【米国】12月建設許可件数
22:30	【米国】1月フィラデルフィア連銀景況指数
22:30	【カナダ】11月国際証券取扱高
22:30	【カナダ】11月製造業出荷

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1212.10	-0.80
NY 原油	51.08	-1.40
CME コーン	365.00	-0.50
CBOT 大豆	1075.00	+5.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.217%	1.148%
3年債	1.506%	1.412%
5年債	1.928%	1.818%
7年債	2.238%	2.126%
10年債	2.422%	2.324%
30年債	3.006%	2.928%

ドイツ10年債	0.355%	0.321%
英国 10年債	1.336%	1.309%

1/19 主要会議・講演・その他予定

- ・ ECB 理事会、 ドラギ ECB 総裁 定例会見
- ・ 米10年TIPS債入札

NY 市場レポート

21 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 0.8% (前回 5.8%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

≪MBA 住宅ローン申請指数≫

	1/13	1/6	12/30	12/23	12/16	前年同期
申請指数	0.8	5.8	0.1	-12.1	2.5	-12.0
購入	-5.8	6.1	-1.4	-0.7	2.7	0.9
借換え	6.8	4.4	1.7	-23.2	3.0	-22.9
固定金利	0.6	5.7	1.3	-12.0	2.0	-11.7
変動金利	4.0	7.2	-16.3	-12.7	8.6	-16.6

固定金利 30 年 ・ 4.27 ・ 4.32 ・ 4.39 ・ 4.45 ・ 4.41

固定金利 15 年 ・ 3.51 ・ 3.56 ・ 3.64 ・ 3.70 ・ 3.64

21 : 40

≪企業決算≫

米ゴールドマン

第 4 四半期の 1 株利益は 5.08 ドル (予想 4.84 ドル)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

12 月ポーランド雇用（前月比） 0.1%（予想 0.1%・前回 0.2%）

12 月ポーランド雇用（前年比） 3.1%（予想 3.0%・前回 3.1%）

12 月ポーランド平均総賃金（前年比） 2.7%（予想 4.0%・前回 4.0%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

22 : 00

《 企業決算 》

米シティグループ

第 4 四半期の 1 株利益は 1.14 ドル（予想 1.12 ドル）

22 : 00

◀ 要人発言 ▶

メルケル独首相

- ・「英離脱による EU 分裂の回避が最も重要」

22 : 25

◀ 要人発言 ▶

黒田日銀総裁～CNBC とのインタビュー

- ・「米中の本格的な貿易戦争は予想しない」
- ・「円の現行水準は、貿易相手国に懸念されていない」
- ・「為替レートは経済ファンダメンタルズを反映すべきだ」
- ・「日本経済は米経済の成長加速から恩恵を受けるだろう」
- ・「テーパリングを検討するのは尚早」
- ・「緩和姿勢の変更を検討するのは尚早」
- ・「物価の動きは非常に緩慢だ」

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月米消費者物価指数（前月比） 0.3%（予想 0.3%・前回 0.2%）

12 月米消費者物価指数[コア] 0.2%（予想 0.2%・前回 0.2%）

12 月米消費者物価指数（前年比） 2.1%（予想 2.1%・前回 1.7%）

12 月米消費者物価指数[コア] 2.2%（予想 2.1%・前回 2.1%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《消費者物価指数》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全品目	0.3	0.2	0.4	0.3	0.2	0.0
除く食品・エネルギー	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1
エネルギー	1.5	1.2	3.5	2.9	0.0	-1.6
サービス	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2
食品・飲料	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0
居住費	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3
医療費	0.2	0.0	0.0	0.2	1.0	0.5
娯楽費	0.0	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1

12月の米消費者物価指数は、前月比+0.3%、前年同月比では+2.1%と、ともに市場予想と一致し、物価上昇が続いていることが示された。特に、原油価格の上昇を背景に、エネルギー価格が物価全体を押し上げる要因となった。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.2%、前年同月比では+2.2%となった。エネルギー価格は+1.5%、ガソリンは+3.0%。食品は0.0%、サービスは+0.3%となった。食品・エネルギー以外の分野では、居住費が+0.3%、衣料費が+0.2%、娯楽費が0.0%、衣類・装飾は-0.7%となった。

23 : 10

英最高裁、EU 離脱の議会承認めぐる判決は 24 日に下す

23 : 15

《 経済指標の結果 》

12月米鉱工業生産 0.8% (予想 0.6%・前回 -0.7%)

前回発表の-0.4%から-0.7%に修正

12月米設備稼働率 75.5% (予想 75.4%・前回 74.9%)

前回発表の75.0%から74.9%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
鉱工業生産	-0.8	-0.7	0.2	-0.2	-0.1	0.4
製造業	-0.2	-0.1	0.3	0.2	-0.5	0.3
鉱業	-0.0	-0.7	3.5	-0.2	-0.1	0.8

	最終財	原材料
最終財	-0.9	-0.7
原材料	-0.1	-0.2

	75.5	74.9	75.4	75.3	75.5	75.6
設備稼働率	75.5	74.9	75.4	75.3	75.5	75.6
製造業	74.8	74.7	74.9	74.7	74.7	75.1
鉱業	78.1	77.9	78.2	75.4	75.3	75.1

12月の米鉱工業生産は、前月比+0.8%となり、2014年11月以来2年1ヵ月ぶりの高い伸びとなった。例年並みの寒さとなったことで暖房用の電力・ガスの使用が増え、全体水準を押し上げた。ただ、市場予想が+0.6%だったことから市場予想を上回る結果となったが、前月結果が下方修正されたことから、実質ベースで予想を下回る結果となった。生産指数は、製造業が+0.2%と2ヵ月ぶりのプラス、電力・ガスは+6.6%で4ヵ月ぶりのプラス。一方、鉱業は横ばいだった。12月の設備稼働率は、前月比0.6ポイント上昇の75.5%となった。

23:30

《 要人発言 》

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「エネルギー価格は、今後3-5年に上振れリスク」
- ・「2017年の米GDP成長率は2.3%前後に」
- ・「米家計には支出余力がある」
- ・「米労働市場は非常にタイト」
- ・「貿易は米国の雇用を増やし、競争力を高めた」
- ・「米国の債務水準は持続不可能」
- ・「FOMCは年内に緩和策解除を」
- ・「FOMCはバランスシート縮小方法の検討を」

0:00

《 経済指標の結果 》

1月米NAHB住宅市場指数 67 (予想 69・前回 69)

前回発表の70から69に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《NAHB住宅市場指数》

1月・12月・11月・10月・9月・8月

住宅市場指数・・・67・・・69・・・63・・・63・・・65・・・60

現状指数・・・72・・・75・・・69・・・69・・・71・・・65

見通し指数・・・76・・・78・・・69・・・72・・・71・・・67

顧客動向指数・・・51・・・52・・・47・・・46・・・48・・・44

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ政策金利発表 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)



出所：Bloomberg

◀ 欧州のポイント ▶

- ①英国立統計局が発表した9-11月の英雇用関連統計では、失業率は4.8%と11年ぶり低水準にとどまったものの、就業者数は-0.9万人となった。12月の失業保険申請件数は-1.01万件、9-11月の賃金は前年比+2.8%と2015年9月以来の大幅な伸びを記録した。ボーナスを除く賃金は前年比+2.7%と2015年8月以来の大幅な伸びとなった。
- ②エルドアン・トルコ大統領は、国内経済に関する演説で、トルコ中銀の金利政策への言及を控えたことを受け、中銀が今月の会合で金利を引き上げるとの期待が強まった。大統領は、これまで借入れコストが高いのは政策金利が高水準にあるためだと繰り返し批判してきたが、この日の演説では金利に言及しなかった。また、トルコ中銀は、入札を通じて銀行に一定期間、外貨を貸し出す外貨デポ市場を開設すると発表しており、これらのことから、トルコ中銀による引き締めを期待する向きも出ている。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、12月の米消費者物価指数が上昇したことでインフレの加速が意識され、米国債の売りが先行した。午後に行われるイエレン米FRB議長の講演を前に、積極的な買いを手控えるムードも強かった。

午前の利回りは、30年債が2.97%（前日2.93%）、10年債が2.37%（2.32%）、7年債が2.16%（2.13%）、5年債が1.86%（1.82%）、3年債が1.44%（1.42%）、2年債が1.18%（1.15%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、前日までの下落で値頃感が出た銘柄を中心に買いが先行した。ただ、ECB理事会を前に様子見ムードも強く、やや限定的な動きとなった。



出所：Bloomberg

4 : 00

《米地区連銀経済報告》

- ・「賃金は大半でやや上昇、労働市場はタイト」
- ・「雇用市場は今年、一段とタイトになると多くの地区が予想」
- ・「12 地区のうち 8 地区が物価のわずかな上昇を報告」
- ・「緩慢な成長が続いたと大半の地区が報告」
- ・「熟練工の採用、広域で困難」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 0.80 ドル安の 1 オンス=1212.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇したのにつれて、ドルの代替資産とされる金を売る動きが優勢となった。ただ、イエレン FRB 議長の講演を控えて様子見ムードも強く、限定的な動きとなった。



出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 1.40 ドル安の 1 バレル＝51.08 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建て原油の割高感が出たことから、売りが優勢となった。また、米国産シェールオイルの増産に対する警戒感も圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

5 : 00

＜ 要人発言 ＞

イエレン米 FRB 議長

- ・「利上げ待ちすぎれば積極的な引き上げを余儀なくされ、景気後退を招く恐れ」
- ・「12 月時点で 2019 年まで年間数回の利上げを想定」
- ・「2019 年末までに 3%の長期中立金利に近づくと予想」
- ・「利上げ予想、経済見通しの変化により変わる」

- ・「生産性の低い伸びは、急激な利上げが必要ない可能性を示唆」
- ・「12 月の利上げ、米経済の回復が継続するとの自信を反映」
- ・「米経済は完全雇用に近い、インフレ率は目標の 2%に向上」
- ・「4.75%の失業率、完全雇用に相当と推定」

- ・「経済情勢が FRB の目標に近づく中で、緩やかな金融緩和解除が妥当」
- ・「FRB はドルの価値で目標ないが、注意を払っている」
- ・「ドルの価値は米経済に重大な影響を与える」
- ・「ドル高による輸出への足かせが継続すると予想」



《米株式市場》

米株式市場は、原油価格が下落したことで、収益悪化懸念から石油関連株が売られ、序盤は軟調な動きとなった。その後、値を戻す動きが見られたものの、終盤まで上値の重い動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤に前日比 87 ドル安まで下落、その後一時プラス圏まで値を戻す場面もあったが、小幅安で引けた。ハイテク中心のナスダックは小幅高となった。



《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は、株価や原油価格の下落などが影響し、やや上値の重い動きとなった。しかし、終盤にイエレン FRB の発言を受けて、ドル買いが優勢となり、また円が売られる動きとなったことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。